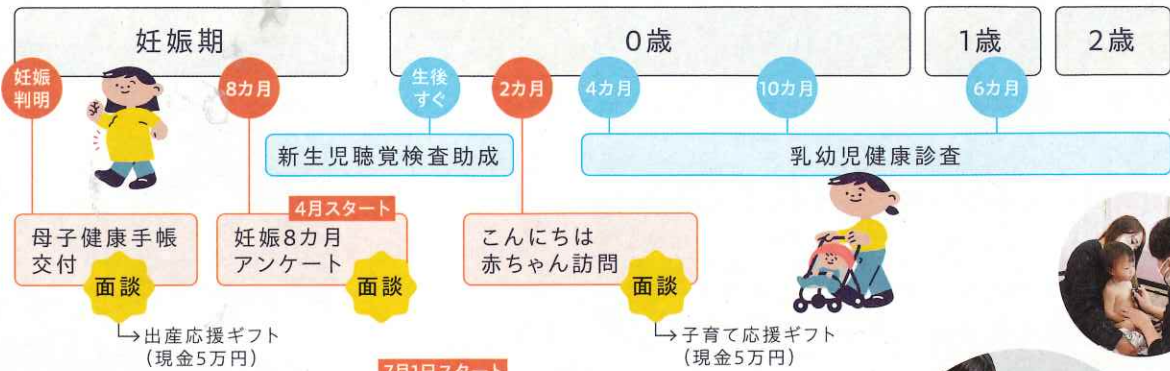


糸島市子育て世代包括支援センター「いとハピ」をご利用ください

面談や健診の機会に気軽に相談を



▶産婦健康診査助成
産婦健康診査に係る費用を助成し、産後の体調不良、精神的不安を把握
【対象者】出産から間もない産婦
【助成回数】2回以内/人
【助成限度額】5,000円/回



各種サービスがあります

- ▶妊娠期・子育てを応援**
妊娠中や子育てをしている中で出てくる疑問や困り事について、専門職と一緒に解決方法を考えます。
【対象者】ママ・パパ、ご家族など
【場所】子育て世代包括支援センターいとハピ (必要に応じ家庭訪問も可)
- ▶産後ケア事業 宿泊型**
出産後、育児支援が必要な人を泊まりでサポート
【対象者】出産後4カ月未満の母子
【自己負担額】5,000円/日
非課税世帯・生活保護世帯は2,000円
【利用施設】馬渡産婦人科医院
- ▶産後ケア事業 訪問型**
助産師など医療専門職の訪問によるサポート(授乳・沐浴など)
【対象者】出産後1年以内の母子
【利用限度回数】5回/人
【自己負担額】1,000円/回
非課税世帯・生活保護世帯は無料



一般社団法人福岡県助産師会
会長 佐藤 香代 さん

助産師はお母さんの母親的存在
大いに頼って甘えても大丈夫！

初めて子育てをする母親は、全てが初めての体験で不安がいっぱいです。特に実家などの支援が受けられず、自宅で赤ちゃんに向き合う人は、ひとりぼっちの「孤育て」になりがちです。

以前は隣近所のおばちゃん、おばあちゃんが「どうね？」などと声掛けをして相談に乗ってくれていました。こうして誰かの手助けを受けて子育てするのが人間の本来あるべき姿。子育てにおいて、誰かの手を借りることは決して恥ずかしいことではなく、実はとても重要なことです。しかし今は、初心者が一人で大海に投げ出された状態。「抱っこしているのに、なぜ泣きやまないの？」どうして母乳を飲んでくれないの？」と、戸惑うのは当たり前のことです。

産後ケア事業(訪問型)では、福岡県助産師会の助産師が自宅を訪問。実際に授乳の様子(赤ちゃんの姿勢や乳頭の含み方など)を見て、相談に乗ります。助産師は、お母さんの母親的存在。どんな些細なことでも頼って、甘えていいのです。我慢せず、気軽に支援サービスを利用して「子育てって楽しい！」と、心から思ってくれることを願っています。